

七友会 だより

「卒業の頃」

七友会会長 佐原 和典

今年も卒業と送別の季節がやってきました。同窓会長として、送別祝賀会であいさつのため壇上に立つたび、自身の卒業の頃のことを走馬燈のようによみがえってきます。

1981年3月23日、まだ雪の残る寒い日だったと記憶しています。当時、入学式も卒業式も大学の体育館で行われていました。紅白の幕で縁どられた体育館には、整然といすが並べられ、正面には大学の旗が掲げられていました。寒さ対策で、いくつかストーブがたかれていましたが、足元からの冷たさを感じながら、張りつめた気持ちで式に臨みました。残念ながら、学長がどんな話をしたかは覚えていません。ただ「人文社会科学部第一回卒業生…」と言われた時には、改めて「卒業するのかあ」という感慨がありました。卒業式後、学部で各研究毎に「卒業証書授与式」が行われましたが、実はこの時、「同窓会設立について」の呼びかけをし、賛同を得て同窓会が設立されました。もう35年が経っています。その後、13時から生協の中央食堂で「送別祝賀会」が催されました。全てが初めてで、祝賀会では式次第の「余興」の文字にびっくりでした。各研究から出し物をするようになっていたのです。私の所属した欧米研究も急ぎょ、皆で歌をうたったものでした。

夕方からは、「謝恩会」を開きましたが、実は会場探しから大変でした。会を開くことが恒例だと知った頃には、市内のホテルはほとんど押さえられていて、会場が見つからなかったのです。今のようにネットで調べることもできませんから、電話をかけたari、直接訪ねたりして、やっと小さなレストランを借りることができました。謝恩会はゼミ毎に開くことが多かったのですが、私たちは「欧米研究」で、まとまって開くことにしました。それでも卒業生と招待した先生の数がほぼ同数だったので、本当にささやかな、でもなごやかな謝恩会でした。その後先生に誘われて二次会へ行ったことは覚えていますが、いつ、どこで終わったかは定かではありません。

時々、一期生は個性的だったとか、先生との関係が強かったと言われました。今が特に希薄かということ、そうではないと思います。ただ、当時は、新しい学部を創った先生方の情熱と、文・理入りまじった学生の熱気に「初」という強烈なスパイスが隠し味となった独特の「時」だったのだと思います。あの頃から、もう40年。今年10月には創設40周年の記念行事が行われます。30周年に比べれば、簡素なものになりますが、これは大きな節目への確実な一歩でもあります。この春、またあらたな卒業生が巣立ちます。多くの先輩がそうであったように、自分の思いを信じ、様々な分野であらたな道を切り拓いて下さい。

目次

卒業の頃	1
これからの予定	1
35周年記念同窓会 in 市ヶ谷	2
40年の時を超えて ～人社1期生の還暦祝～	2
「進路選択セミナー」 を終えて	3
評議員会開催案内	3
学部創設40周年記念行事	3
会員の皆さん、連絡先 をお知らせ下さい	4
学部就職ガイダンス	4
卒業生・修了生と学長 の懇談会(第10回)	4
9月卒業生	4
退職する先生	4

「岩手大学ミュージアム」の準備委員の竹原先生が、学部創設40周年記念企画展「人社って何だ!」を計画しています。現在、展示用の資料を集めていますので、在学時の写真や資料をお持ちの方はお知らせ下さい。どんなものがあるか、まずは郵便で事務局までお知らせ下さい。

これからの予定

3 / 23	4 / 7	5 月	6 / 23	6 / 24	7 / 22	10 / 27
岩手大学卒業式	岩手大学入学式	同窓会連合理事会	進路選択セミナー	平成二十九年年度評議員会	「卒業生・修了生と学長との懇談会」(仙台市)	学部創設四十周年記念行事

35周年記念同窓会in市ヶ谷

会報42号でお知らせしていた、七友会の「設立35周年記念同窓会」は平成28年9月24日（土）、東京・市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷にて開催されました。「30周年」の時は、1年以上前から様々な準備をしていましたが、その中心となる事務局が現在諸般の事情で休止状態のため、今回は、会報とHPでの告知のみとなりました。関東地区には会員も多く、インターネットやSNS等の利用も盛んなことから、どれだけの参加者が集まるかという試験的側面もありました。40名の目標に対して、30名あまりの申し込みがあり、ホッとしましたが、最終的には25名の参加となりました。この中には、1期生が個人的に出したハガキでの申し込みやFB（フェイスブック）でのつながりが大きく、今後の検討課題となりました。



会には、はじめての参加者もあり、各自の近況報告や友人の情報交換等で大いに盛り上がりました。少ない人数ではありましたが、終始なごやかに進み次回（40周年同窓会）での再会を期して、散会しました。楽しい一時でした。

40年の時を超えて～人社1期生の還暦祝～

昭和52年（1977年）5月21、22日に入試が実施され、28日合格発表、6月4日に入學式と、季節外れに慌ただしく岩大生になったのが、人社1期生の我々です。当時の盛岡駅は、地下道や駅ビルもない鄙びた佇まいの街はずれの駅でした。

それから40年が経とうとしています。函館まで新幹線が延び、駅西口にもビルが建ち、正に隔世の感があります。

一方で、不来方城址は当時の趣を残し、中津川の清流を見下ろしています。

平成29年1月28日土曜日の午後4時過ぎに城北北側の櫻山神社へ向かいました。今年は酉年。昭和32年生まれの人が還暦を迎える年になります。

昨年2月に申年以上の1期生の皆さんが、岩手の歳祝いと称し、還暦祝いをされました。これがきっかけとなり、今年は酉年4月から戌年3月生まれ（所謂1浪組）の1期生が、盛岡にやってまいりました。中には、戌年4月以降の人もいましたが、厄払いのお祝いですので、前厄、本厄、後厄の方がいても何の問題もないようです。

控室では、お祓いを受ける1期生が再会を祝い、手を净めて本殿へ案内されます。祝詞の奏上、榊の奉納、拝礼その他、獅子を使ったり、弓を使ったりと御祭神が南部のお殿様ですので、なかなか経験できないお祓いでした。

お祓いを終え、大通りのきのえね本店で、お祓いに参加しなかった1期生も参加して、新年会の開催となりました。櫻山神社から頂いたお神酒で乾杯し、近況を語り、亡き友を偲び、旧交を温めることができました。

このような顔ぶれで話が始めると、40年の時をあっという間に遡ることができます。

昨年、今年と2年続けて還暦祝いが行えたのは、盛岡近郊にいらっしゃる藤村紀行さん、落安昭三さん、遠藤隆さん、稲垣秀悦さん、中野玲子さん、猿川弘治さん、晴山農さんといった皆さんのおかげです。感謝に堪えません。やはり遠方では、段取りを付けることも難しいですし、お手数をおかけして、本当にありがとうございました。

また、遠方から参加してくれた皆さんにも深謝申し上げます。今年が皆さんにとって、良い年でありますようにお祈りいたします。

1期生では、一昨年の夏に卒業後35周年の集いを開催しましたが、だんだん年齢を重ねるとともに、これから人数が減っていく可能性が高くなります。身体の動くうちに健康長寿を目指すためにも、旧交を温める機会は、できるだけ持ちたいものです。特に、今年は、上述したように学部発足後40周年の年でもあります。大学も秋に記念式典を行うようですから、そうした機会を活用して、ぜひ盛岡を訪れていただきたいと思います。とりあえずは、来年も還暦祝いが開催されることを願っております。私も来年は3月に還暦と定年を迎える予定ですので、ぜひ参加したいと考えております。

結びに、人社に関わる全ての皆さんのご多幸、ご健勝をお祈り申し上げます。

1期 大澤雅昭（春日部市会計管理者）



「進路選択セミナー」を終えて

平成28年度2回目となる「進路選択セミナー」は、平成29年2月10日（金）16：30からG19教室を会場に開かれました。今回も浅沼先生の「スポーツ行動論」の授業の枠を提供していただきました。ありがとうございます。

今回の講師は、平成24年に卒業された平野涼子さん（環境科学課程：分析化学）と、平成7年に卒業された関口尚（ヒサシ）さん（地域文化コース：国文学）のお二人にお願いしました。平野さんは現在、福島県企画調整部避難地域復興局原子力損害対策課に勤める公務員で、「公務員としてみたフクシマの5年」という副題で自身が感じたこと、思っていることを話していただきました。入庁後、初めて勤務した高等学校事務では人とのコミュニケーションの大切さを知り、現在の原子力損害対策課では、住民の状況や法律との関係など直接の業務内容だけではなく、県の考え方など、それを取り巻く内容も知る必要性を知ったということです。定期的に被災地区を訪問し、状況の把握、対応にあたるだけでなく、被災地での復興イベントなどにも積極的に参加して、仕事以外の人との繋がりも築いていました。これも重要なことだと感じたそうです。最後には「福島の復興のために、福島でいっしょに働きましょう」と呼びかけていました。

関口さんには「作家という職業」という副題で話していただきました。いわゆる「専業」の作家で、『プリズムの夏』で2002年、第15回小説すばる新人賞を受賞、『空をつかむまで』で2007年、第22回坪田譲治文学賞を受賞しています。芥川賞作家の本を多く読み、大学で平安時代の文学の研究をしていたことなどが素地にあるようで、高校生の頃か

ら、なりたいたいと思っていたことが、2002年によく花開いたようです。現在は、集英社のネット配信の連載などを中心に仕事をしており、作品をつくりあげていく過程や、作家の収入源や日々の生活の事など、特異な世界の内情を詳しく話してくれました。そして、なりたかった職業に就いて考えると、実はそうした職業の周囲にも、同じような情熱を持って働いている別の職業があることに気づいたそうです。好きな事に柔軟な気持ちで向きあってみると、周辺にも仕事はあるものです。決して、はじめから諦めないでほしいと結びました。

二部のフリートークでは、地元盛岡を中心に集まってくれた12名がアドバイザーとして加わり、学生からの質問に答えました。学生からの、大学の時にやっておけば良かったと思うことは…、ミスや欠点を克服するには…、などの質問に具体例を示しながらアドバイスしていた。

参加者は、学生の外に、先生方も何人がみえられ、全体で60名ほどでした。セミナー終了後の反省会には、途中から浅沼先生も加わり、今後のセミナーについてなど様々な意見交換をしました。また、学生の感想が届くと、特に講師の二人は、反応がすぐわかってうれしい…と喜んでいました。最後に就職委員長の樋口先生のお礼の一部を紹介します。

「福島県の復興事業の今をお話くださった平野様の講話には、胸を打たれ、卒業生にそのような現場で活躍される方がいることを本学部の誇りとも思いました次第です。

また、小説家の生活や人生を語り聞かせてくださった関口様の講話からは、人が生きていくうえで想像力や感受性がきわめて大事であることが示されたようにも感じました。

アドバイザーとして発言されたOBの方々のお話もそれぞれに含蓄が深く、学生諸君を益するところが大きかったものと感じました。深く感謝申し上げます。

このような異世代交流の機会は、たいへん貴重であると感じております。互いにお互いの世代を理解しあうことで、あらたな未来を切り拓いていくためのさまざまな可能性が生まれてくるように感じております。

今後とも、学生諸君のため、いろいろご教示をいただきたく存じます。」



講師の平野さん（前列左から2人目）、関口さん（前列左から3人目）とアドバイザーの皆さんです（反省会にて）

講師・アドバイザーとして協力していただける方はお知らせ下さい。特に女性の講師の要望が多いので、同窓会からお願いすることもあります。その際は、是非、御協力下さるようお願いします。様々な仕事、経験をお持ちの方にお話しできたいと考えていますので、自薦・他薦よろしく申し上げます。

今回は… 平成29年6月23日（金）を予定しています。学生の皆さんへは、学部就職委員会を通じお知らせします。

平成29年度 評議員会開催案内

平成29年度の七友会評議員会を下記の日程で開催いたします。

評議員の方で出席できる方は、郵便あるいはHP（shichiyukai.net）等を利用しお知らせ下さい。出席される方の旅費等については、予算内において同窓会が負担します。

なお、評議員以外の方も参加できますので、事前にお知らせ下さい。

記

日時	平成29年6月24日（土） 13：00～17：00
会場	アイーナ（いわて県民情報交流センター） 703会議室
議題	1. 平成28年度 事業報告及び会計決算報告について 2. 平成29年度 事業計画（案）及び会計予算（案）について 3. 大学院改組にともなう七友会会則の改正について 4. その他

学部創設40周年記念行事

記念事業は、経費の面から50周年を見据えて簡素に行うことになりました。現在、実行委員会にて検討中ですので、詳細がわかり次第HPでお知らせします。

開催日	平成29年10月27日（金）
内容	1. 講演会 2. 祝賀会（市内のホテルにて、 会費制で開く予定）

同窓会では、記念行事に積極的に協力していきます。平日開催ではありますが、会員の皆さんの参加をお待ちしています。

会員の皆さん、連絡先をお知らせ下さい

同窓会では、毎年このような会報を発行しています。これらを皆さんに送るためには、連絡先の把握が重要になりますが、転居等で連絡先が不明になることが多く、現在、4割強の方が不明状態になっています。

連絡先は現住所でも実家等家族住所でも構いませんが、確実に連絡のつくところをお願いします。転居等の際には郵便局への届出と共に、事務局へもお知らせ下さい。

なお、寄せられた情報は同窓会活動のみに利用されるもので、事務局で一括管理されています。また、会費については、ほとんどの方が入学時に納められていますので、特に請求されることはありません。同窓会活動は、ほとんど会員のボランティアで運営されています。今後の学部の発展及び同窓会の親睦のための活動に、ぜひ御協力下さい。

※ 友人で会報の届いていない方は、連絡先不明になっている可能性があります。すぐに事務局までお知らせ下さい。

連絡先情報

ふりがな 氏名 (男・女)	卒業 専攻	期 (S H 年 月卒) (コース 課程)	研究室 ゼミ等	封筒にある整理番号 No. _____
現住所 〒				
(自宅) TEL FAX	携帯	勤務先名等 (可能なかぎり)		
E-mail				
家族等連絡先 〒				

連絡先不明者の氏名を掲載する予定でしたが、都合により今回は、おこないません。

学部就職ガイダンス

報告：吉田

就職活動に入る3年生向けの学部就職ガイダンスは平成28年12月6日(火)、大学会館2階大会議室で開催されました。

第1部は盛岡二高の昆浩之先生が講演しました。自身の就活や経歴を踏まえて、「人は危機感がない。進路が様々で一体感がないばかりか、専門を活かそうとすると選択肢が狭まってしまう。物事を筋道立てて考えるということを活かし、さらに情報収集能力をつける必要がある。周りに流されないように、一日一日を大切に。いくつかだめでも、諦めないで続けることが必要。」と話しました。

第2部には、浅沼さん(盛岡市役所)、菊池さん(いわてリハビリテーションセンター)、齋藤さん(北日本銀行)、奥崎さん(岩手大学)の4名がゲストスピーカーとして加わり、学生の志望分野毎に分かれて歓談しました。学生の参加は9名でしたので、マンツーマンのような感じでした。

「卒業生・修了生と学長の懇談会(第10回)」 7月22日(土)に仙台で開催

岩手大学と岩手大学同窓会連合が共催する「卒業生・修了生と学長の懇談会(第10回)」について、1月16日に開かれた、同窓会連合の理事会で話し合われ、前回も候補にあがっていた仙台市で開催することが決まりました。仙台では平成22年にも開催していますが、震災後ははじめてとなり、これで被災3県をめぐることとなります。

記
日時 平成29年7月22日(土) 懇談会 15:00~17:00
懇談交流会 17:30~19:00
(会費制)
会場 仙台ガーデンパレス(予定)

具体的な案内は、例年どおり往復ハガキで行います。宮城県内の会員の方を中心に5月頃にお知らせしますので、お誘い合せの上御参加下さい。なお、ハガキが届かない方、宮城県外で参加したい方は、七友会事務局の方に郵便でお知らせ下さい。6月末までをお願いします。

9月卒業生

平成28年9月26日(月)、9月卒業生の卒業証書授与式が行われました。人文社会科学部からは、以下の4名が卒業されました。

- ・人間科学課程 添田 寛人
- ・国際文化課程 齊藤 かすみ
- ・法学・経済課程 金 娜 来
永澤 ハイネル

おめでとございます。今後の活躍を期待します。

退職する先生

平成29年3月末で退職される先生は、次の2名の方々です。

- ◆菊池 孝美 教授：地域政策課程(旧、法学・経済課程)
専門：国際経済論
- ◆田口 典男 教授：地域政策課程(旧、法学・経済課程)
専門：経営学総論

長い間ありがとうございました。お二人には、同窓会からささやかではありますが、記念品をお贈りします。

現在、諸般の事情により、事務局Eメール(jimu@jinsya.com)及び関東支部HP(www.jinsya.com)は休止状態になっています。同窓会の動きを知りたい場合は、岩手大学HPから「卒業生の方」へ進み、同窓会「七友会」へ進むと七友会のHPへ進むことができます。現在は(shichiyukai.net)が、最新の情報を提供しています。同窓会への連絡は郵便又は七友会ネットを御利用下さい。

岩手大学人文社会科学部同窓会 <七友会>

【郵便宛先】020-8550 盛岡市上田3-18-34
岩手大学 人文社会科学部内「七友会」宛
【事務局】Tel(留守録)& Fax: 047-336-3945
E-mail: jimu@jinsya.com

ホームページもご覧ください!

http://www.shichiyukai.net/
http://www.jinsya.com/ [関東支部]